

☆ 1歳半～3歳前後のこどもの行動 ① ☆

イヤイヤ・かんしゃく



何でも「イヤだ!」「自分で!」など、親にとっては困った行動が目立ち始めます。これは、親から十分に愛情をもらい、自分の存在に自信を持ち、自分を意識するようになった証拠。親は対応に困ってイライラしてしまいがちですが、1～3歳の子どもの特徴を理解して接することで、大きな成長へと導くことができます。

1歳半～3歳の子どもは・・・

- ◆ 好奇心旺盛! 何でも見たい・触れたいという気持ちでいっぱいです。
- ◆ やってみるけれど思い通りにできない出来事にたくさん遭遇します。
- ◆ 思い通りにできないイライラを自分で切り替えることができません。
- ◆ 言葉で自分の気持ちを上手に伝えることができないので、かんしゃくを起こしたり暴れたりして、体全体で気持ちを表現しようとしています。
- ◆ 筋道立てて考えることがまだできないので、言葉で言い聞かせても、理解することはまだ難しい段階です。

「自分で」! を成長につなげるかかわりのヒント

親は、できるだけ手助けを減らし、見守りながらかかわるが大切です。分かりやすい選択肢を与える: 例「緑の靴にする? 黄色い靴にする?」できなかった時の悔しい気持ちや、できたときの嬉しい気持ちを言葉に変えて、子どもに話す。例) 「やったね! できてうれしいね!」「難しかったねー。残念だね。でも、よくがんばったね。すごいなー!」危険な物は、子どもの目に触れない場所や手が届かない場所に置く。

かんしゃく

への対応のコツ

- 言い聞かせる前に、まず子どもの気持ちを落ち着かせましょう。抱っこしたり、手を握ったり背中をなでたりするとよいでしょう。目の届く範囲で少し離れたほうが効果的な場合もあります。
- 子どもが無理な要求をしている時は、その要求には取り合わないようにします。
- 子どもが落ち着いたら「落ち着いてよかった!」と言葉をかけてあげてください。そして場所を変えて気分を変えたり、してはいけないことについて話してみましょう。

ご相談のある方はお電話ください。

港北区福祉保健センター こども家庭支援課
こども家庭相談 540-2388

